

No. 2984

2021-2022年度

会 長 松村 秀一  
幹 事 川口健太郎  
R広報委員長 児嶋 正人



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30  
例会場 紀州有田商工会議所6F  
〒649-0304  
有田市箕島33-1  
紀州有田商工会議所2F  
有田ロータリークラブ  
Tel (0737) 82-3128  
Fax (0737) 82-1020  
創 立 昭和34年6月15日  
ホームページ <http://www.aridarc.jp>  
e-mail [office@aridarc.jp](mailto:office@aridarc.jp)

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

2021-2022年度クラブ方針

クラブで親睦を深め一人一人がそして  
クラブが地域を明るくする



本日のプログラム

令和3年10月14日 第2985回

- ・前期IDM発表
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

次回のお知らせ

令和3年10月21日 第2986回

- ・米山記念奨学生卓話：王 静嫻 さん
- ・ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告（第2984回例会）

開催日 令和3年9月30日(木)

点 鐘 [松村君]

ゲストの紹介 [川口幹事]

ゲスト：前田 悦雄 氏（有田市教育委員会 教育長）

ニコニコ箱の報告 [脇村SAA]

松村君：前田教育長様、ようこそ有田RCにお越し下さいました。お話楽しみにしています。

川口君：前田教育長様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話宜しくお願ひ致します。勉強させていただきます。

岩橋君：前田悦雄教育長、卓話楽しみにしています。

上野山(捷)君：前田悦雄様、本日の卓話ありがとうございます。

上野山(栄)君：前田教育長様、いつもお世話になりありがとうございます。本日、卓話よろしくお願ひ申し上げます。

中元君：前田先生、本日の卓話よろしくお願ひします。

橋爪(誠)君：前田悦雄教育長、ようこそ有田RCへ。本日よりお願ひいたします。勉強させていただきます。

井上君：前田様、本日の卓話よろしくお願ひします。

木本君：前田悦雄様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話、宜しくお願ひ致します。

脇村君：前田教育長さん、本日の卓話よろしくお願ひします。

出席報告 [木本例会運営委員長]

本日の会員数27名

(出席規定免除会員8名)

出席会員数23名

(出席規定免除会員6名)

会長の時間 [松村会長]

「公平」

ラジオを聞いていますと「子供科学電話相談」をやっていました。

ある小学4年生が「公平ってなんですか？」と質問しました。この質問にはなんと答えるのか、とても興味がわきました。

「学校で先生が公平になるように多数決で決めましょう」と言ったそうです。答える先生は他に「公平にじゃんけんで決めよう」ということがありますね。と続けます。先生は言います。「一言でいうと、公平というのは何かを決めるときにその結果、損をする人や困る人なるべく出ないようにする事です」難しい言葉でいうと「公平とは結果の平等」です。

続けて、「給食の余りものをだれが食べるかをじゃんけんで決める」こんな時、じゃんけんに勝てばうれしいが負けると悔しい。という結果になります。ただ参加する機会は公平にあります。みんなが給食を食べ終わっているのでそれはそれでよいけれど、世の中にはいつもおなか一杯食べている人もあれば満足に食事がとれない人もたくさんいます。そんなときにはじゃんけんで決めるわけにはいきませんね。と続けます。

公平を説明するのによく使われる絵があるとラジオなので言葉でその絵を説明しました。

するとその子は塀をなくせばよいと答えました。しかし、ボールが外に行かないようにするため塀が必要です。台を置けばよい。とその子が言いました。

塀をフェンスにしてもよいですね。と先生。

まとめとして、先生は、〇〇さんは公平というのを聞いて「もやもや」としたので質問してくれたと思う。これから大人になっても「もやもや」することがあると思うのでそんなとき考え続けてほしい。



個性を伸ばすために環境を整えることでそれぞれの個性や特徴で悔しい思いや悲しい思いをすることなく成長してゆける。考え続けることで、だれ一人取り残すことなく、よりよい世界にすることができるようになります。と締めくくりました。

私も「もやもや」とした時にはしっかり考えたいと思いました。

**幹事報告** [川口幹事]

報告連絡事項4件ございます。

- 1.前期IDM出欠締切本日となっております。
- 2.国際ロータリー第2740地区より、佐賀・長崎豪雨支援金のお礼状と報告が届いております。
- 3.10月14日例会終了後10月度定例理事会となっております。
- 4.本日でクールビズ終了致します。10月より通常通りジャケット・ネクタイ着用となります。

**委員会報告**

※情報・研修委員会(中元委員長)

10月6日(水)、10月7日(木)の午後6時30分より橘家で前期IDMを対面とZOOMでのハイブリッド形式で開催します。

**卓話**

「これからの有田市の教育」



有田市教育委員会  
教育長  
前田 悦雄 氏

◆有田市立有和中学校(令和6年開校)

市内中学校の統合につきましては、平成18年度より議論を重ね、いよいよ令和6年開校に向けて校舎の建設が始まりました。

校舎は、子供たちが生活する教室棟、体育館や武道場などの体育館棟、音楽室や図書室などのメディアセンターからなります。いつ起こるかかわからない自然災害にも対応できるよう、避難所になり得る防災機能も備えています。

学習では、ICTの活用をはじめ、子供が学びたいくなる教育環境をつくり、個別最適な学びの充実や学習の効率化を目指します。

また統合により、多くの友達に出会え、様々な考え方にもふれることから、子供同士であるいは多様な他者との協働的な学びの充実にも取り組んでいきます。

◆有田市の教育

知・徳・体を一体的に育む「日本型学校教育」は、諸外国から高い評価を受けています。

有田市においても、知・徳・体に郷土愛を加えた教育目標を掲げ、子供一人ひとりへの質の高い教育を実現するため、子供たちが主体的・協働的に学ぶ授業や道徳教育・ふるさと教育の推進、体力づくり等に取り組んでいるところです。

ここ数年は、全国学力・学習状況調査においてほとんどの教科で全国平均を上回るなど、学習面で一定の成果がみられます。しかし、社会が大きく変化する中で、危機感も持っています。自ら課題を見つけ、学び、考え、判断・行動できる人材の育成が重要であり、子供たちに必要な資質・能力を明確にし、育んでいかなければなりません。一人一人が自ら考え、行動していくことのできる自立した個人として、心豊かにたくましく生き抜いていく基礎を培うことが一層重要になると考えています。

また、全ての子供たちの可能性を引き出す質の高い教育のためには、ICTは必要不可欠です。有田市では、GIGAスクール構想の実現に向け、令和2年度末に子供たち1人1台の端末の整備が完了しました。学習者のレベルに応じて自ら取り組めるようなタブレットドリルも採用しています。授業中の活用、授業配信などにも取り組んでいます。導入したばかりで課題も多いですが、ICTの積極的な活用など、子供たちの学びを保障する取組を組織的・継続的に行っていく必要があると考えています。



◆コミュニティ・スクール

有田市では「地域とともにある学校」づくりを進めるため、平成29年度、市内すべての小中学校にコミュニティ・スクールの仕組みを導入しました。学校と地域の連携・協働により、郷土への誇りや愛着を育むとともに、子供たちの豊かな学びや育ちを実現していきます。

また、この仕組みを生かし、学校と地域が一体となって子供たちの学びや成長を支えていくとともに地域コミュニティの拠点としての魅力ある学校づくりを展開していきます。さらに「学校を核とした地域づくり」へとつなげていきたいと考えています。



**閉会・点鐘**

[松村会長]